

第6回臨時会(8月26日)

■認知症高齢者の対策

関係機関が相互に連携し徘徊症状のある認知症の高齢者等を、行方不明となった場合は速やかに保護し、事故を未然に防ぐことを目的として「認知症高齢者等SOSネットワーク連絡会議」が7月7日に発足いたしました。

この日の連絡会議には、警察や消防のほか商工会、農協、金融機関、介護事業所などに加え新聞販売店やガソリンスタンドなど町内の協力団体も参加し、情報を共有しながら認知症の方と家族を町ぐるみで見守る態勢を確認したところです。

■株安愚楽牧場

8月1日に、信用調査機関から破綻情報が配信されたことから、8日、本町牧場の責任者に事情を聴取するものの詳細は不明であり、翌9日には東京地方裁判所に民事再生手続開始の申し立てが行われたところでありました。

本町では栄に平成19年に直営牧場が増設され、主に育成牛が飼育されていますが、町内に預託農家はないものの、従業員30人の内13人が町内に在任しており、雇用不安が懸念されるところです。

道や関係市町との連携を密にししながら、推移を注視し適切な措置を図ってまいります。

■第1回つべつ七夕まつり



ジュンコアンドチープ

雨の中盛会だった七夕まつり



8月6日、多目的活動センター「さんさん館」において、津別まちづくりセンター運営協議会とつべつ七夕まつり実行委員会の主催により開催され、延べ約700人の来場を得て盛会な催しとなりました。会場には、願い事が書かれた短冊が柳に飾られるとともに、子どもたちによる手作り行灯が設置され、七夕気分が演出されました。

また、縁日コーナーや屋台村、紙芝居や大正琴の演奏会、「ジュンコアンドチープ」の

コンサートが行われるなど、中心市街地での新たなイベントが誕生したところです。運営に当たられた23団体の実行委員の皆様、そしてご協力下さいました多くの皆様にお礼を申し上げます。

■死亡交通事故ゼロ日運動

平成22年3月2日を起算日として取り組んでいました死亡交通事故ゼロ日運動は、本年8月2日に目標としていた500日を達成しました。

次の目標設定を700日(平成24年2月18日達成)とし、関係機関のご支援を得ながら、全町民とともにこの運動を推進してまいりますので、全町民のご協力をお願い申し上げます。

◎その他報告された事項

■寄附 ■第41回つべつ夏まつり ■第61回社会を明るくする運動「ふれあい町民のつどい」 ■グレステンスキー講習会 ■船橋市・



南アルプス市との青少年交流事業

南アルプス市との青少年交流事業 ■第39回全日本ジュニアトランポリン競技選手権大会 ■第42回全国中学校ソフトテニス大会 ■津別霊園無縁仏の供養 ■北海道社会貢献賞

第7回定例会(9月21日)

■台湾龍馬会

龍馬会とは、幕末の志士である坂本龍馬の功績や教えを広めようとする有志の集まりで、日本のみならず世界各地に存在し、台湾においても昨年7月に、李登輝元総統を名誉会長として発足したところです。

この会の陳事務局長が、8月31日に相生を訪れ、地域住民との交流を考えた主に夏季利用の別荘建設の意向が示されたことから、今後、その計画について協議を進めていきます。

■つべつふるさとまつり

9月9日、10日の両日、20回目を迎えた「ふるさとまつり」が開催されました。10日には美幌警察署長より、20年にわたり暴力団とその関係者を排除し、「町民が安心して楽しめるまつり」を行っていることへの感謝状が実行委員会に授与されました。

好天に恵まれた中、商工会会員、各種団体、サークル、実行委員会直営の店などそれぞれ趣向を凝らした39店が出店し、訪れた多くの町民を樂しませてくれました。

■おしらせ道ねっと

9月14日に道の駅あいおいにおいて、北海道コカ・コーラボトリング株式会社と網走開発建設部及び津別町との協働事業として、電光掲示板付き自動販売機を活用した地域情報、道路情報、緊急情報を、道の駅利用者に對して提供する「おしらせ道ねっと」の協定を締結し同日運用を開始したところです。



各種の情報が掲示される「おしらせ道ねっと」

災害発生時には、役場からの遠隔操作により、自動販売機内の飲料の無償提供を行うことも可能となりました。

◎その他報告された事項

■寄附 ■農作物の作況状況 ■建設工事等の発注状況

委員会活動

常任委員会 特別委員会

各常任委員会・特別委員会は議会の閉会中も委員会を開催し、所管事務について協議しています。

総務文教常任委員会

第4回（9月6日）

- ・町税条例等の一部改正について
- ・移動通信用鉄塔施設整備事業分担金徴収条例の制定について
- ・パブリックコメント手続条例の制定について

産業福祉常任委員会

第4回（9月8日）

- ・第2次機構改革について
- ・台湾二水郷との交流について

- ・特定公共賃貸住宅の家賃について
- ・牧野の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- ・津別峠展望施設設置及び管理に関する条例の一部改正について
- ・木質ペレット製造施設保管施設について
- ・認定こども園について

議会運営委員会

第9回（8月24日）

- ・第6回津別町議会臨時会の運営について

決算審査特別委員会

第1回（9月21日）

- ・正副委員長の互選について

委員長	山内	議員
副委員長	村田	議員
委員	谷川	議員
	茂呂	議員
	鳥本	議員
	白馬	議員
	藤原	議員
	篠原	議員

平成22年度の一般会計、7つの特別会計（国保会計、老人保健会計、後期高齢者会計、介護保険会計、介護サービス会計、下水道事業会計、簡易水道会計）、上水道事業会計決算について審査を行うため、設置しました。

議会広報特別委員会

第12回（10月13日）

- ・議会報138号の編集について

- ・選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について
- ・各種委員の推薦について
- ・陳情書の取り扱いについて
- ・第10回（9月16日）
- ・第7回津別町議会定例会の運営について
- ・選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について
- ・平成22年度各会計決算の認定について
- ・意見書の取り扱いについて
- ・各種委員の推薦について

産業福祉常任委員会 道内視察を実施

- ・新冠町
- ・安平町
- ・栗山町
- ・佐呂間町

7月19日から21日の日程で、新冠町と安平町では本年、一昨年開園した認定こども園について、栗山町、佐呂間町で町営バスの運行について、調査、情報交換などを行いました。

町で計画している認定こども園については、建設財源や運営方法、施設の視察などを行い今後の建設に向けた調査を行いました。町営バスについては、コミュニティバスや病院直行バスなど、多様な運行を実施している両町で、運行実態などの調査をいたしました。



など、多様な運行を実施している両町で、運行実態などの調査をいたしました。

議会日誌

7月

19～21日 産業福祉常任委員会道内視察（新冠町、栗山町、安平町、佐呂間町）

8月

4～5日 オホーツク圏活性化期成会夏季要望（東京都）

19日 網走地方森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会定期総会（北見市）

24日 議会運営委員会

26日 第6回津別町議会臨時会

26日 第5回全員協議会

30日 和寒町議会視察

9月

2日 網走郡下町議会議長・副議長会議（津別町）

6日 総務文教常任委員会

8日 産業福祉常任委員会

16日 議会運営委員会

21～22日 第7回津別町議会定例会

21日 決算審査特別委員会

10月

13日 議会広報特別委員会

平成24年度農業予算編成に関する意見書

◆提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣、国土交通大臣

J R三島・貨物会社に係る税制特例の恒久化等を求める意見書

◆提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣

原子力発電からの脱却と自然エネルギーの推進を求める意見書

◆提出先 内閣総理大臣、経済産業大臣、内閣官房長官

意見書

関係行政庁へ
提出しました

2012年度「公立高等学校配置計画」の再考を求め、地域や子どもの実態に応じた高校づくりを実現する意見書

【要旨】 教育の本質は、個人の尊厳を基盤とした「人格の完成」にあります。潜在的な可能性を最大限に開花させる「ゆたかな高校教育」の実現を目指し、中学卒業生数の減少期だからこそ地域に高校を存続させ、行き届いた教育を行うことが必要です。

よって、次の事項について要請します。

記

1. 道教委の「公立高等学校配置計画」及び「公立特別支援学校配置計画」は、機会均等や子どもの学習権を奪うとともに、地域の教育・文化だけでなく地域にも影響を与えるため再考すること。
2. 地域キャンパス校の「募集停止」は、子ども・保護者に遠距離通学や高校進学を断念せざるを得ない状況に追い込むだけでなく、進路や将来に対する不信と不安を増大させるため再考すること。
3. 学区拡大や学校裁量問題の導入は、高校の序列化や、遠距離通学、経済的負担増、小規模校の統廃合を加速させるため再考すること。
4. 希望するすべての子どもが地元の高校へ通うことのできる後期中等教育を保障するため、「地域合同総合高校」の設置などの検討をすすめること。

◆提出先 北海道教育委員会委員長

軽油引取税の課税免除措置などの恒久化を求める意見書

◆提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、農林水産大臣、国土交通大臣

森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書

◆提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣

はぐるま 一歯車

永年の行政経験を
経て議員となった
が、近年重要施策の
進め方につき肝要な
点で疑問が散見さ
れ、特に目玉政策で
の行政先行が目立つ
気がします。施策自
体の計画は現状を踏
まえ立派ですが、具
体手法で熟慮すべき
と思われま

ここで議員の立場から一般
的概念で言うと、行政と議会
は車の両輪ですが、行政には
予算や行政執行権があるが、
しかし議会には町民の代弁者
たる職責があり、施策の大事
な点で適否を求められ、厳正
かつ適切な指摘やチェックに
より議決権が与えられていま
す。議会が形骸化すると行政
の独走となり、議会の存在価
値がなくなり、町民世論で不
信を増幅することとなりま
す。
特に、重要施策は将来に禍
根を残さない取り組みが今、
求められている気がします。
もって町の大事な施策は町
民主役の原点を踏まえ、従来
の行政主導型でなく、前年の
まちづくり懇談会等で基本的
な説明をし、住民意向の大勢
に沿って遂行することが相応
しいと思われま

（谷川）